

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 2月10日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675800090
法人名	社会福祉法人 昭芳会
事業所名	グループホーム 芳明庵
所在地	鹿児島県始良郡湧水町般若寺358番地 (電話) 0995-75-462
自己評価作成日	平成28年10月5日から10月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年12月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム開設当初から玄関や居室には鍵をしない環境や「身体拘束が出来ない」とした職員教育が根付き、居室は全個室にトイレがあり、排泄介助や居室のカーテン等のプライバシーの保護を重視して「利用者の立場に立って」考えるケアの実践に取り組んできた。又、社会福祉法人「昭芳会」全体で利用者様を支える支援がなされ、災害時の対策や日頃から取り組んでいるケアの報告会などが行われて職員は法人全体で毎年目標を掲げて日々のケアの実践や環境作りを行っている。芳明庵の建物の横に畑があり、季節の野菜を植え、利用者と一緒に収穫している。食事の野菜は地域の物を使っている。季節に応じて、理念に基づく五感を楽しんで頂いている。

○静かな農村地帯の広い敷地に、同法人の特別養護老人ホーム、デイサービスセンター・高齢者向け住宅等と隣接して設置されている。各種の会議や研修、防災訓練、緊急時の対応などは、連携・協力して行う体制が構築されており、園庭での利用者への見守りや声掛けなどは、全事業所で対応している。また、法人母体の医療機関との連携は緊密で利用者や家族の安心につながっている。

○法人全体で地域交流に取り組んでおり、日常的に高齢者福祉や介護に関する相談が寄せられ、また職場体験や研修視察、ボランティア等を積極的に受け入れるなど、地区の福祉の中核的存在となっている。災害時の避難場所に指定されており、台風時には住民の避難を受け入れている。

○管理者及び職員は、理念に沿って、利用者の尊厳や誇りを大切にしながら想いの把握に努め、住み慣れた地域で平穩にその人らしい生活ができるよう日々取り組んでいる。利用者及び家族の想いや身体状況、生活習慣等を的確に把握したうえで介護計画の策定及びケアをしており、モニタリングも毎月実施しカンファレンスや援助会議で情報を共有して改善に取り組んでいる。

○管理者は、職員間の協力体制や利用者・家族との信頼関係の確立がサービス向上に繋がると認識しており、日頃から要望や意見等の把握に努め、出された課題に対しては速やかに職員全体で話し合っ改善を図っている。また、職員のスキルアップにも熱心に取り組んでおり、計画的な研修の実施や、外部主催の研修への参加、資格取得へのバックアップなど細かに配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	五感を感じるように季節ごとに玄関に花を植えたりしつらえをしている。	法人の共通の理念に沿ってホームの年間目標を設定し、利用者がその人らしく楽しく平穏に過ごせるよう、思いやりを持った支援に努めている。理念は玄関に掲示するとともに援助会議や毎日の申し送り等で研修や振り返りを行って、認識を深めケアに反映させている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	事業所が民家から離れているため日常的な関わりは少ないが地域での買い物や職場体験学習を受け入れ交流を行っている。	地域外の為自治会への加入は無いものの、日頃の買い物や散歩時に地域の人々と会話したり、農産物を頂くなどの関係も築かれている。隣接のディサービスの利用者との歓談、踊りや三味線演奏等のボランティア、福祉関係者の研修や中学生の職場体験も受け入れており、これらの人々との交流を利用者は楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通して支援の方法を報告行い認知症の理解を求めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に5～6回開催してニュースレターなど活用して意見交換を行っている。	家族や地域代表、町担当職員、地域包括支援センター職員、居宅支援事業所職員等が参加して年6回開催している。ホームからは利用者の現況や行事、事故等の報告を行い、委員からは地域の高齢者に関する情報や災害時の対応、ケアに関する質問や意見が活発に出されている。「ほぜ祭り」では利用者と委員が園庭で一緒に昼食を摂り、交流の場となっている。出された意見や要望は援助会議や申し送り等で話し合っサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加された際は困難事例やニュースレターなどで利用者の状況や取り組みの報告行っている。	町担当者や包括支援センターの職員には運営推進会議に出席してもらうと共に、訪問や電話で運営や諸手続き、利用者の状況についての相談を行い、その都度、助言や指導等を頂いている。また、町主催の研修会や会議にも積極的に参加して、意見や情報の交換を行い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束委員会を開催している。朝のミーティングで日頃から話し合い検討している開放的な環境で玄関、居室は施錠しない生活になっている。	身体拘束廃止や権利擁護については、法人全体で計画的に研修を実施して周知を図り、身体拘束廃止委員会を設置して拘束のないケアに努めている。また、日頃のケアの中や申し送りでも随時研修やケアの振り返りを行い、特にスピーチロックや言葉遣いについては日常的に意識して、利用者の気持ちを尊重したケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加して毎月の援助会で確認し合い理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会で学ぶ機会を持ち職員は理解して周知して支援行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に本人、家族に説明している。改定時には文書、口頭で理解されるまで十分説明行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月ニュースレターと近況報告及び介護計画、経過報告を送付している。面会時は意見、要望を聞く機会を設けている。	利用者の思いや意見は日常の会話や表情、所作の見守りで把握に努め、家族の意見や要望等は運営推進会議や来訪時の対話や電話等で、利用者の状況をケース記録を見て貰いながら聞き取っている。出された要望等は申し送りや援助会議で情報の共有を図り、迅速に協議してサービスの改善を図っており、経過や結果については本人や家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人全体の朝礼や週1回の昼礼は理事長も参加して運営の状況や意見を話す機会がある。月1回の援助会議でも意見や提案を話す機会がある。	管理者は、日頃から話しやすい雰囲気作りに努め、毎日の申し送りや毎月の援助会議・カンファレンス時に職員の意見や提案を聞き、必要に応じて個別面談の場も設けている。得られた意見や提案を、具体的にスキルアップや業務の改善、ケアの向上につなげるように取り組んでいる。勤務シフト作成や外部研修の参加等についても可能な限り希望にそって対応し、より良い職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回自分の目標決めて自己評価行っている。賞与に反映。向上心を上げるため、研修できる機会がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修や関係医療施設や他の法人と交換研修を行うなど機会が多い。職員間で話し合いなどを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に所属し交流会やネットワーク作り、勉強会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に見学に来られている。入居時説明し要望等を聞いている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時前に情報を受け取っている。入居時に要望や不安なことを確認。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>医療と福祉の連携を行っている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>「利用者中心のケア」「利用者の立場になる」寄り添うケアを行い関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター</li> <li>・近況報告及び介護計画、経過報告。</li> <li>・ケース記録の掲示、面会時の近況報告。</li> </ul>		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り馴染みのある美容室に出かける。デイサービス利用者の面会を受け入れて関係が持続できるよう支援している。	利用開始時に本人や家族、関係機関から、生活歴、病歴、家庭環境、地域との交流状況、趣味、嗜好等を聞き取り、「まるごとシート」に整理して情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり話せる場やお茶の配慮をしたり、本人の希望に沿って買い物や市立図書館の利用、ミニドライブ、一時帰宅、墓参り等、馴染みの人や場との関係が途切れないように家族と連携して支援している。遠方の家族とは機関誌の送付や電話、手紙の取り次ぎにより関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ地域同士で会話ができるような環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時いつでも遊びにきて頂けるよう言葉掛け行っている。来られた時は、その人の立場に立って話を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族から「まるごとシート」で情報を得ている本人の立場に立ったニーズを考えている。	日頃のケアの中で、利用者の思いや希望の把握に努め、尊厳やプライバシーに配慮しながら本人主体のより良い暮らしが営めるように、家族とも連携して取り組んでいる。特に書道や読書、手芸など、利用者毎の趣味や余暇の過ごし方についても十分に意向を確認し、気分や体調、職員の付添い等に配慮しながら、可能な限り本人の想いを尊重した支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時の情報 ・まるごとシートを利用して生活歴を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家族や利用していたケアマネジャーからの情報を得ている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・毎月の介護計画経過報告 ・家族を交えた担当者会議を行う。それに基づいた介護計画を作成している。	介護計画は、利用者・家族の意向や主治医からの指示、担当職員の意見等を基に、職員全員で意見交換して利用者本位のきめ細かな介護計画を作成している。計画には各利用者の課題と改善目標等を明確にし、ケアの方法等も詳しく記載されており、カンファレンスやモニタリングを実施して利用者の実態に即した改善に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日 日中、夜間個別記録を行い、それを評価につなげ、介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>1人のお年寄りを法人全体で支援するという方針があり全体朝礼など話し合う機会がある。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議を利用して、地域資源の情報がある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療を利用してかかりつけ医との連携を密にして、受診の支援を行っている。</p>	<p>利用者の入所前の病歴や受診経過は把握しており、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。利用者の殆んどが協力医療機関を主治医としており、訪問診療や家族と職員が協力しての通院で受診している。協力医療機関とは緊急時の24時間連携体制も築かれている。受診の結果は電話等で家族へ報告し、情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療と連携を取り適切な受診を早期対応できるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は面会に行ったり、医療機関との情報共有を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入院時に終末のあり方を話し合う機会を持っている。状況によっては、主治医とも面談をする機会を持ちニーズに添った支援が出来るようにしている。</p>	<p>利用開始時に重度化や終末期における介護についての対応を指針を基に説明して理解を得ている。重度化した時点で主治医より病状の説明があり、カンファレンスを実施し家族と協力しながら取り組んでおり、これまで数件の看取りを実施している。今後も研修等で介護技術の向上や、職員の不安の除去を図りながら、看取りの希望には可能な限り取り組む意向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会等で、対応の仕方、訓練をしている。 職員間のミーティングで連携方法等話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、併設の施設と協力して訓練を行っている。	年2回夜間想定を含む火災や地震発生に備えた通報、避難、消火の訓練を隣接の同法人事業所と一緒に実施しており、協力体制も築かれている。また日頃から災害の事例を参考に避難や通報の手順を確認し合う等、防災に対する意識は高い。緊急通報装置やスプリンクラー等も整備され、水や食品、ラジオ、懐中電灯、カセットコンロ等も準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	居室は個室でトイレ、洗面所があり、トイレ使用時はタオルを掛けるなどプライバシーは保たれている。職員の言葉掛けも人格を尊重している。	プライバシー保護や個人情報の取扱いについては、法人による研修の実施に加え、日常のケアの中で振り返りや話し合いを行って共通の認識を図っている。ケアの実施にあたっては、利用者の尊厳や誇りを傷つけることの無いよう、特に入浴や排泄時の支援は言葉づかいやプライバシー保護に十分配慮している。全居室にトイレ、洗面台が設置され、共用の浴室等はプライバシーが確保された構造となっている。利用者に係かる台帳類も適切に管理している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	本人の思いや希望を聞き入れ、その人が自己決定できるよう心がけている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者個々のペースに合わせ、その方がどのように過ごしたいか希望にそって支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	生活歴から得る情報によりその人らしい身だしなみやおしゃれが継続できるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節によつての食べ物を楽しんでもらっている。又、好みを聞きながら、なるだけ食卓に並べられるよう心がけている。	栄養士が作成した献立を基本に栄養バランスや形態等に配慮しながら、利用者が希望する食事の提供に努め、職員も一緒に和やかに談笑しながら食事をしている。旬の食材や盛り付け等に留意し、食に対する関心が湧くよう五感を活かした食事に取り組んでいる。御節や彼岸、節句、誕生会、年越しそば等の行事食や、弁当持参の花見、ソーメン流しや家族との外食等、食事が楽しみなものとなるよう様々な工夫を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量のチェックを行い健康管理を行っている。栄養バランスは、医療機関と連携をとっている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その人に合った口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1人ひとりに応じた排泄パターンを検討し、出来る限りトイレで排泄出来るよう支援している	「排尿、排便確認表」で各利用者のパターンを把握し、昼間は利用者の羞恥心や不安に配慮しながら誘導や声かけを工夫して可能な限りトイレでの排泄の支援している。利用者個々の状況に応じた適切な援助の方法や介護用品の選択等の工夫は、利用者個々の介護プランに盛り込まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲水を勧めて食事にも工夫をして予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉であり個々の希望に添った入浴を支援している。浴槽に浸かるのが困難な方にも、浸かれるよう器具を整えている。	温泉による入浴は週2～3回が基本であるが、入浴の希望や体調不良及び排泄の失敗時の清拭など十分配慮しながら柔軟に対応している。利用者の好みのシャンプーや温度、時間に配慮して個浴でゆっくりと入浴してもらい、身体の異常の観察や皮膚疾患の手当も行ないながら親密に会話するなどコミュニケーションの場にもなっている。利用者の重度化に伴い、特殊浴槽や入浴用品を整備している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室でありその人に応じた生活が出来るよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局の管理指導の下、服薬を理解し支援行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物畳みなど現存機能を活かした役割を行っている。カラオケや外出など気分転換の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族の協力により、家に帰ったり、戸外の散歩や季節に応じた花見や外出を支援している。</p>	<p>利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って日常的に近辺の散歩や買い物、ミニドライブ、図書館利用、外食などに出かけている。また花見やドライブ、ソーメン流しなどには家族も参加しており、利用者の楽しみな行事となっている。帰宅願望等で外出したがる利用者には職員同行の散歩や対話で安定を図っており、隣接の事業所や近隣の人々との見守りや連絡の協力体制が築かれている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人と家族の話し合いで管理できる人は小遣いを持っている。カット代や買い物の必要時支援している。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>事務所の電話は利用者が使用出来るようにしている。本人の要望により支援している。携帯を持っている方もいる。</p>			
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内は落ち着いた灯りになっている。季節によって、しつらえを工夫している。</p>	<p>居室及び共有スペースは共に余裕のある広さで、広い窓やウッドデッキが設置されて明るく落ち着いた雰囲気となっている。利用者が昼間の殆んどを過ごすリビングは対面式の台所に接し、テーブルセットやソファ、畳のスペースがあり、神棚も設置されている。随所に利用者の作品や行事の写真、絵画、生花、民芸家具、帯や扇子などの工芸品等が飾られ、周囲の田園風景が四季を感じさせている。空調や異臭にも十分配慮され、整理整頓された衛生的な環境となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>1人ひとりにあつたソファ等準備して、隣同士会話がしやすいよう環境を整えている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人、家族と相談して馴染みのある家具、置物等持って来て頂き、落ち着いた環境で過ごせるよう工夫している。</p>	<p>余裕のある掃出し窓仕様の居室は、全室園庭に出られる構造になっており、トイレ、洗面所、エアコン、ベッド、タンスが備えてある。家庭と同様に落ち着いて過ごせるように家族写真や仏壇、使い慣れた整理棚、テレビ、炬燵、小物等を持ち込んでその人らしい和やかな雰囲気のある居室となっている。清掃や整理整頓も十分で、来訪の家族や友人との交流の場にもなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内外の環境整備は法人全体で取り組んでいる。居室は1人ひとりが安全に生活できるような環境を整えている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	四季を通して外出などし五感を感じて頂いている。「理念」については法人全体で毎日行われている朝礼や週1回の昼礼でも共有できるように取り組んでいる		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアなどの踊りの見学や中学生などの職場体験学習など受け入れを行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議などを通して法人内でしていることを報告したり勉強をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて意見をもとに参考させて頂きながら、検討し活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入退居届けなど電話連絡してその後文書でのやりとりを行っている。又運営推進会議にも市町村担当者にも出席して情報の共有をしている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体廃止委員会」は2カ月に1回行っている。又、日々の援助の中で利用者の方の言葉や態度など振り返る事が日々出来る様になっている</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>「身体拘束廃止委員会」は2カ月に1回行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加して研修会報告を行い職員の周知に努めている。法人全体で研修会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に本人・家族に時間をかけて説明している。改定時には文書・口頭で理解できるまで十分説明行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ノートは作成しているが記入がないので、面会時に意見はないか聞いて口頭でのやりとりを行っている。時にはアンケートを作成して郵送したりしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼後のユニット内での話し合いや職員の会議（援助会議）で出した意見や提案を活かしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回、職員が自分の目標を決めて自己評価を行った事が賞与に反映している。研修に参加できる機会は全職員にある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修や関連医療施設・他の法人と交換研修を行うなど研修に参加する機会が多い。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に所属して交流会やネットワーク作りがある。各支部の勉強会には出来る限り参加するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に見学していただくなど開始について、相談できる機会を作っている。入居時に「本人・家族の不安なこと」は書面にも記録できるようにしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族や本人・担当ケアマネージャーから情報を収集している。入居申込書にも記録出来るようにしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>医療と福祉の連携を行っている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>「利用者中心のケア」「利用者の立場に立って考える」開園当初より心掛けている。日常的に常に寄り添って関係を築いている</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人のニーズを家族と一緒に考えて家族の協力の基、支援している。面会時近況報告行い本人の状態を共有している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り馴染みの美容室に送迎を行っている。併設のデイサービスを利用して面会に来られたり関係が保てるように支援している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングや食堂の共有スペースの環境を整え、ゲームなどしながら利用者同士の関わりを支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時「芳明庵便り」の発行を希望する方に配布し、遊びに来られた時は話を聞くようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族に電話をかけた時など代わりにかけて会話できるように支援している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴を記入するシートを利用してサービスに反映している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアマネージャから情報を得ている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画者も一緒に介護しているので、日頃から課題に対して話し合う機会がある。家族を交えた担当者会議を行い、介護計画作成している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は毎日している。職員間の情報の共有を行い評価に繋げている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>法人内で課題について考えたり取り組んだりする機会がある</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議で資源の情報ある</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医が協力して連携を密にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療と連携できる機会を持って適切な受診を早期対応できるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報の提供行ったり面会に行ったり、情報の共有行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に終末のあり方を話し合う機会を持っている。状況によっては主治医と話す機会を持ちニーズに添った支援が出来るようにしている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応の勉強会をする機会があり、職員間のミーティングで連携方法など話し合う機会がある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、併設の施設と協力して訓練している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室でトイレ・洗面所があり、トイレ使用時はタオルを掛けるなどプライバシーは保たれている。職員の言葉掛けも人格を尊重している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者中心のケアを心がけて言いたいことが言えて、自己決定できる環境を整えている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個人のペースを職員が共有して、ペースを大切にその人らしい生活が出来るよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	生活歴から得る情報でその人らしい身だしなみやおしゃれが継続できるよう支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物や季節のものを取り入れた食事を準備したり、残存機能を活かした食事の準備や後片付けを一緒におこなっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を記録して日常的に健康管理行っている。医療機関と連携して定期的な検査受診している		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の尊重を重視してその人に合わせた口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握・検討している。「排泄はトイレで」を重視して日中はトイレで排泄できるよう取り組んでいる		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を把握して飲水を勧める。食事にも工夫し予防に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉であり個々に添った入浴を支援している。身体的に一般的な浴槽が利用出来ない方にも浴槽に浸かれるよう、器具を整えている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室が個室でありその人に合った休息・安眠が出来る		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬説明書をファイルして何時でも確認できる。又薬局の管理指導があり、指導された事は話し合う機会を持ち共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の手伝い・洗濯物畳みなどそれぞれの残存機能を活かした役割を行っている。トランプなど楽しみ作りにも取り組んでいる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に応じた戸外の散歩や季節に応じた花見や外出を計画し行っている。家族の協力で家に帰ったり外出がある		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人と家族の話し合いによって管理が出来る人は小遣いを持っている。買い物やカット代の支払いに必要時支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>事業所の電話は利用者が利用できるようにしてある。華族と本人が協議して携帯電話を持っている利用者もいる</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は落ち着いた雰囲気を作れるよう工夫している。季節に応じて居心地良く過ごせるしつらえを整えている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに一人一人に添った椅子やソファを設置して、自由に過ごせるよう環境を整えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人家族と相談して馴染みのタンスや置物を持ってきて本人が落ち着いた環境で生活できるよう支援している</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内外の環境整備は法人全体で取り組んでいる。居室は個々の状態で安全性・自立を考えた環境を整えている</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない